



白石神楽「毘売舞」(山都町)



仁瀬本神社神楽「五穀」(山都町)



大人歌舞伎(宮崎県日之影町)



中江岩戸神楽(阿蘇市波野)



高千穂の夜神楽(宮崎県高千穂町)



鞍岡祇園神楽(宮崎県五ヶ瀬町)

舞い継ぎ、演じ継いで、受け継がれる伝統

九州山地神楽祭り

1月28日
蘇陽総合支所大ホール



ホールでは町のうまいもんで観客をおもてなし

会場には、前回は上回る約300人もの神楽ファンが集まりました。県内はもちろん県外からのお客さんも多数詰めかけて、神楽独特の笛と太鼓の演奏にあわせた神々しい舞に、盛んな拍手を送っていました。会場のホールでは、地元食材を使ったお弁当、ブルーベリー製菓や野菜などのバザーが行われました。

このほか、宮崎県指定無形民俗文化財の「大人歌舞伎」、平家一族ゆかりの京都文化の影響を受けた「鞍岡祇園神楽」、国の選択無形民俗文化財の指定を受け、今年も迫力の舞を披露した「中江岩戸神楽」、同じく国の重要無形民俗文化財の指定を受けている「高千穂の夜神楽」が、約40分のダイジェスト版を次々と披露しました。

会場には、前回は上回る約300人もの神楽ファンが集まりました。県内はもちろん県外からのお客さんも多数詰めかけて、神楽独特の笛と太鼓の演奏にあわせた神々しい舞に、盛んな拍手を送っていました。会場のホールでは、地元食材を使ったお弁当、ブルーベリー製菓や野菜などのバザーが行われました。

「第10回九州山地神楽祭り」が1月28日、蘇陽総合支所大ホールで開かれました。今年、「仁瀬本神社神楽」(二瀬本)、「白石神楽」(白石)の町内2団体、そして「中江岩戸神楽」(阿蘇市波野)、「鞍岡祇園神楽」(宮崎県五ヶ瀬町)、「高千穂の夜神楽」(宮崎県高千穂町)に加えて、宮崎県日之影町の「大人(おおひと)歌舞伎」が初出演。地域で受け継がれてきた、それぞれに特徴ある、そして厳格なる雰囲気のある舞が次々と舞台上で演じられました。



観客を魅了した「大阿蘇蘇陽太鼓喜楽」の演奏